

《第7号》「グリーンコンシューマーと大学教育」

間々田孝夫(立教大学社会学部教授)

5年ほど前からグリーンコンシューマーの考え方に関心を寄せるようになり、それ以来本校及び非常勤を努めるいくつかの大学の授業で、グリーンコンシューマーについて取り上げてきました。

その結果、学生たちはグリーンコンシューマーの概念、およびその必要性については、驚くほどの確に理解してくれていることがわかりました。しかし、同時にわかったことは、グリーンコンシューマー的行動はほとんど見られないということです。大学でも冷暖房はつけっぱなし、紙は無駄遣い、廃棄物は出し放題です。

日本人は、以前から、頭では環境問題に理解があるが実行が伴わない、といわれていますが、まさにそれを痛感してきた次第です。

今までは、頭の中での理解だけでもいいから、ともかくグリーンコンシューマーの認知度を高め、裾野を広げようとしてきましたが、実行に結びつかないというのはやはり深刻な問題です。

小中学校と違い、大学は自由で学生を大人扱いせざるを得ない場所です。そこで、どうやって学生たちにグリーンコンシューマー的行動を実行させるか、それを考え始めたところです。

以上